



レイヤ

レイヤとは	1
レイヤの作成	2
カレントの切替え	2
表示、非表示の切替え	3
編集可、編集不可の切替え	3
レイヤの表示状態登録、呼出	4
レイヤ間の移動	5
スケールの変更	6
ボタンタイプレイヤ制御	6
レイヤのロック	7
プレビュー表示	7
レイヤ振り分けモード	8
グループレイヤの作成	9
レイヤの表示順	10
他CADからの取込み、書出しについての注意点	11

シート

シートとは	12
シートの作成	13
カレントの切替え	13
表示、非表示の切替え	13
編集可、編集不可の切替え	13
シートの選択	14
スケールの変更	14
シート全体の移動・コピー	14
シート間のコピー	15
シート間の移動	15
シートのグループ登録	15
シートの表示状態登録、呼出	16
シート内のレイヤの扱い	17
シートの表示順	17
他CADからの取込み、書出しについての注意点	18

レイアウト

レイアウトとは	19
レイアウトの作成	20
ビューポートの作成	20
カレントの切替え	21
表示、非表示の切替え	21
スケールの変更	21
移動・コピー	22
ビューポートをロック	23
他CADからの取込み、書出しについての注意点	23

レイヤ

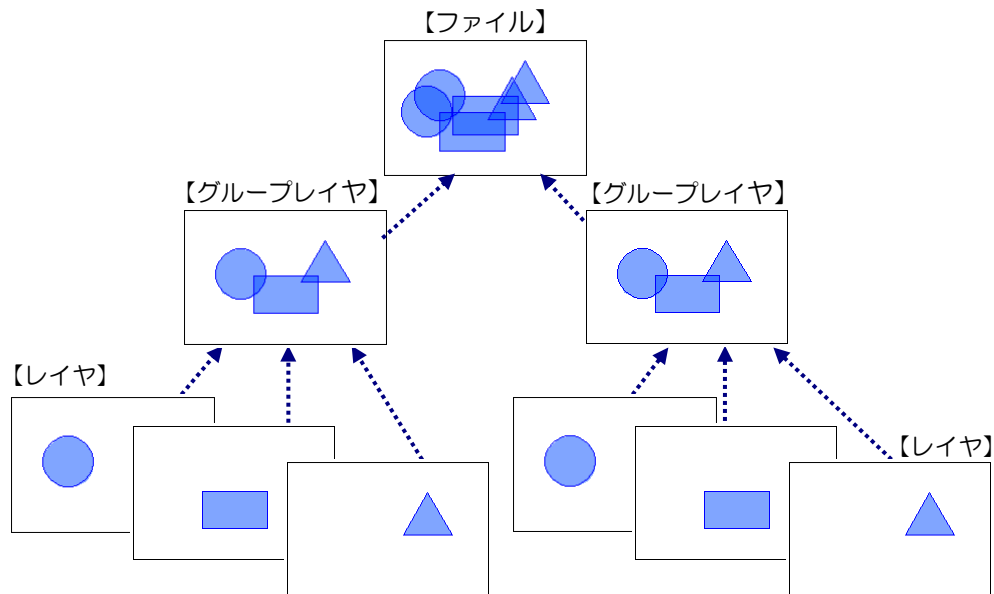
● レイヤとは ●

ファイルは、透明な紙を何枚も重ねて表示していると思ってください。

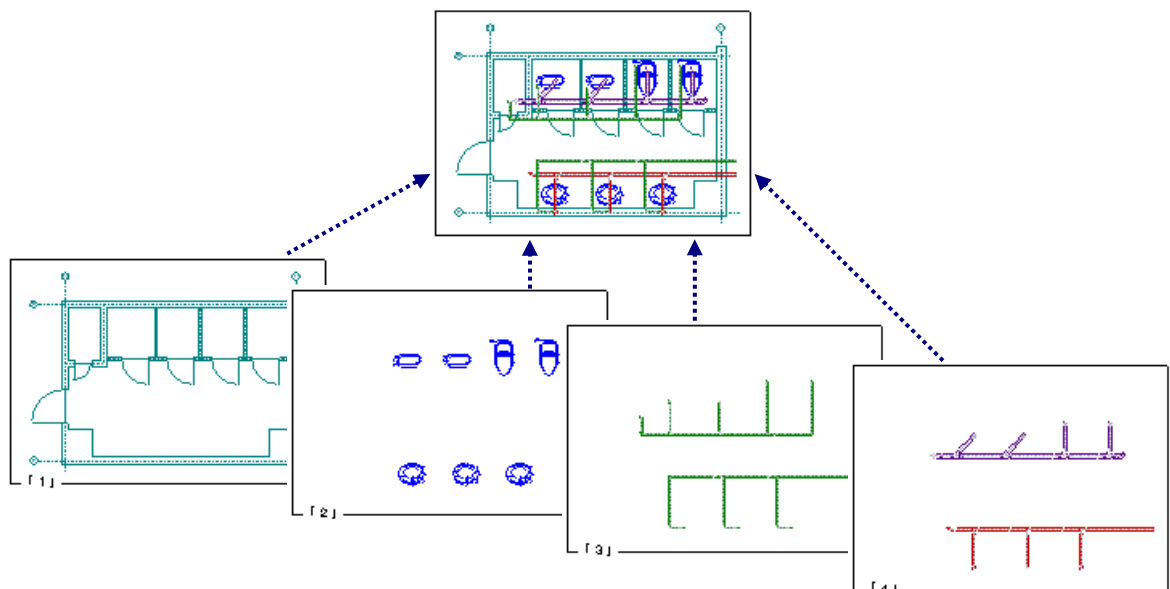
その一枚一枚の透明な紙をレイヤと考えます。

それぞれのレイヤに図形を作図して、レイヤごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。

また、複数のレイヤをグループとしてまとめ、グループレイヤごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。



例えば、建築図を「1」のレイヤ、機器を「2」のレイヤ、給水配管を「3」のレイヤ、汚水配管を「4」のレイヤとします。これをすべて重ねて表示しているのが、今の画面です。

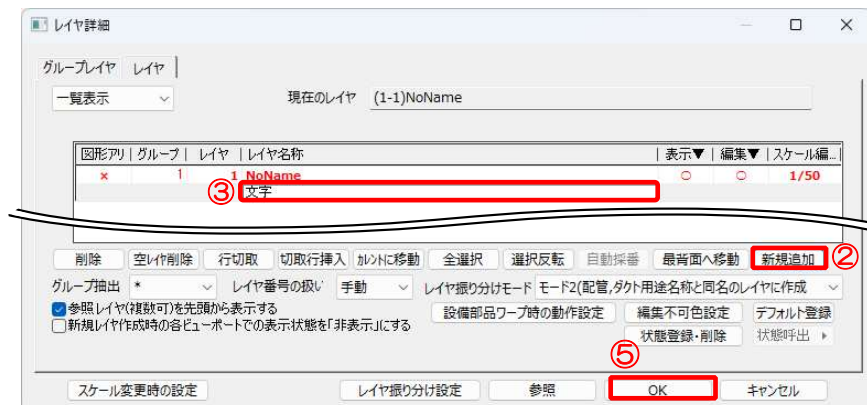


● レイヤの作成 ●

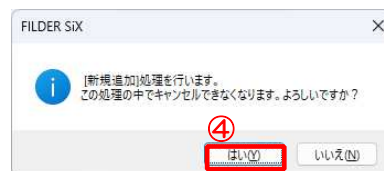
- ① <詳細>ボタンをクリックします。



- ② レイヤ詳細ダイアログの<新規追加>ボタンをクリックします。



- ③ レイヤ名称をキー入力します。
④ 確認ダイアログの<はい>ボタンをクリックします。
⑤ <OK>ボタンをクリックします。



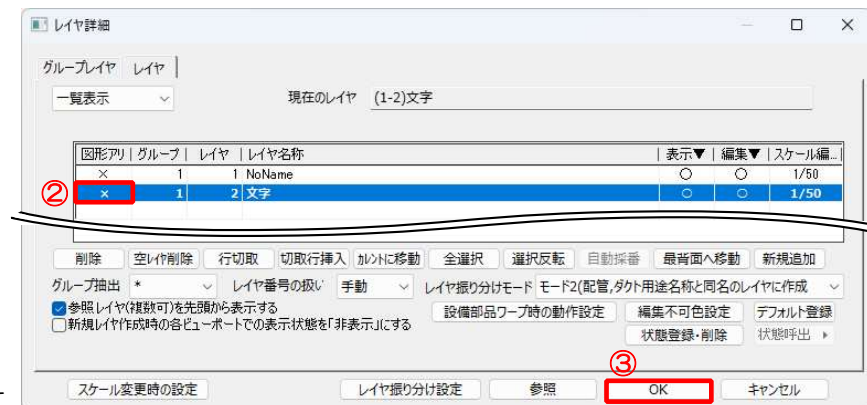
● カレントの切替え ●

FILDER SiX では書込みレイヤを“カレントレイヤ”と呼びます。

- ① <詳細>ボタンをクリックします。



- ② カレントにするレイヤの「図形アリ」欄をクリックします。



- ③ <OK>ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンからレイヤ名を選択します。

● 表示、非表示の切替え ●

- ① <詳細>ボタンをクリックします。



- ② 表示・非表示を切替えるレイヤの「表示」欄をクリックします。(○は表示、×は非表示)
※カレントレイヤの表示状態は変更できません。



- ③ <OK>ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンから表示・非表示を切替えるレイヤの<表示>ボタンをクリックします。
(💡 は表示、💡 は非表示)

※ [表示]タブの[非表示レイヤ指定]コマンドを実行し、非表示にしたい図形をクリック。右クリック確定すると選択した図形が含まれているレイヤが非表示となります。

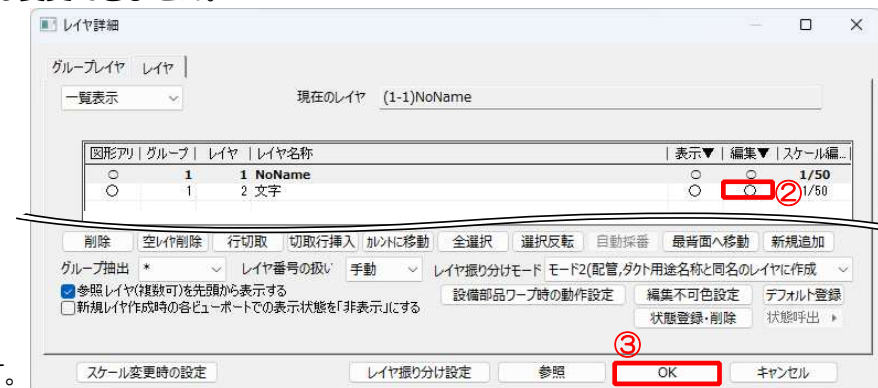


● 編集可、編集不可の切替え ●

- ① <詳細>ボタンをクリックします。



- ② 編集可・編集不可を切替えるレイヤの「編集」欄をクリックします。(○は編集可、×は編集不可)
※カレントレイヤの編集状態は変更できません。



- ③ <OK>ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンから編集可・編集不可を切替えるレイヤの「編集」ボタンをクリックします。
 ( は編集可、 は編集不可)

※ 編集不可としたレイヤの色は、〈編集不可色設定〉ボタンをクリックして編集不可レイヤ表示色設定ダイアログで設定します。



● レイヤの表示状態登録、呼出 ●

レイヤの表示／非表示・編集可／編集不可の状態を登録し、一括で変更できます。

① 〈詳細〉ボタンをクリックします。

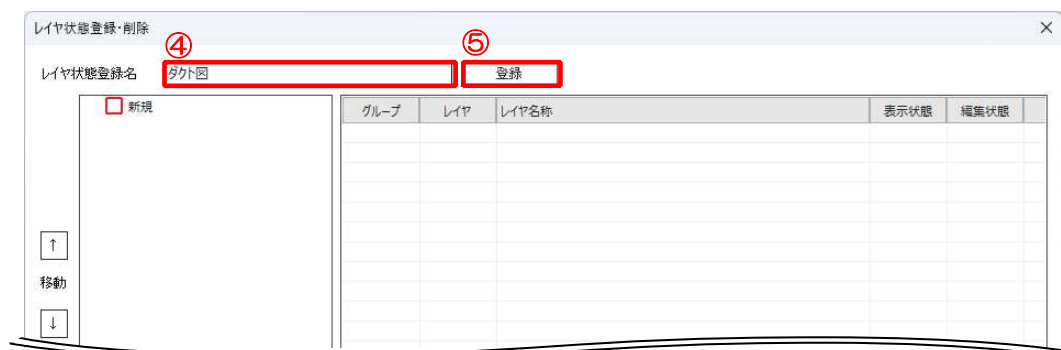


② 「表示」または「編集」欄をクリックして、登録したい表示状態に設定します。



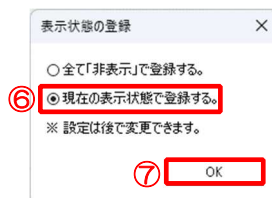
③ 〈状態登録・削除〉ボタンをクリックします。

④ 「レイヤ状態登録名」に名称をキー入力します。



⑤ 〈登録〉ボタンをクリックします。

- ⑥ 「現在の表示状態で登録する」にチェックを入れます。
 ⑦ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑧ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑨ 登録した表示状態にしたい場合は、<状態呼出>ボタンをクリックして登録名を選択します。



● レイヤ間の移動 ●

- ① コマンドキャンセルの状態では、レイヤを移動する図形をクリックします。
 ② レイヤのプルダウンから移動先のレイヤを選択します。



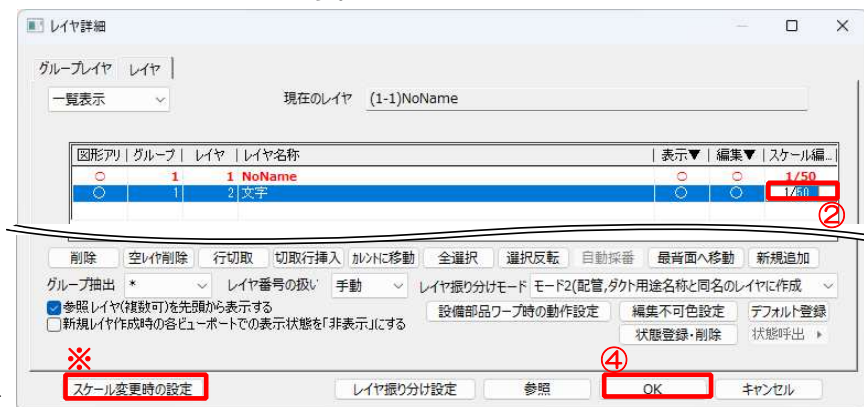
- ③ 右クリックしてショートカットから「ピックキャンセル」を選択します。

● スケールの変更 ●

- ① <詳細>ボタンをクリックします。

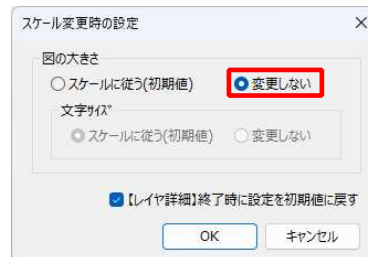


- ② スケールを変更するレイヤの「スケール編集」欄をクリックします。
※ 「作業シート」以外のシートがカレントシートの場合は、「スケール編集」欄が表示されません。
「作業シート」タブをクリックしてカレントにします。



- ③ スケールをキー入力します。
④ <OK>ボタンをクリックします。

※ 見た目の図の大きさを変えずにスケールを変更する場合は、<スケール変更時の設定>ボタンをクリックし「変更しない」にチェックを入れます。



● ボタンタイプレイヤ制御 ●

ボタンタイプレイヤ制御を利用して、カレントレイヤの切替え、表示非表示の切替えをします。

- ① [表示]タブをクリックします。



- ② [ボタンタイプレイヤ制御]-[ツールバータイプ]を選択し、レイヤバーを表示します。
③ レイヤバーの<グループコントロール拡張>ボタンをクリックし、グループレイヤバーを表示します。



番号上で左クリックすると、カレントレイヤとなります。

番号上で右クリックすると、非表示となります。

さらに番号上で右クリックすると、編集不可となります。

● レイヤのロック ●

レイヤのロックは、レイヤの設定状態を変更不可にします。

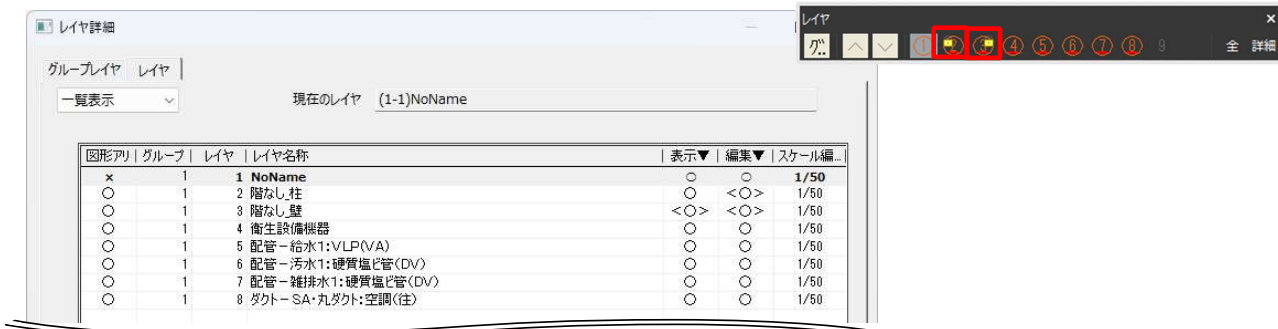
レイヤバーのレイヤ番号左側にカギのマークがある場合は、編集の状態を変更不可にします。

右側にカギのマークがある場合は、編集と表示の状態を変更不可にします。

レイヤ詳細ダイアログでは「表示」または「編集」の欄に「<>」の表示が入ります。

カギマーク上または<>表示上にカーソルを移動し、[Ctrl]キーを押しながら右クリックで編集のロック、[Shift]キー+[Ctrl]キーを押しながら右クリックで編集と表示のロック状態を変更します。

マウスホイールを押すことでロック状態を変更することも可能です。



● プレビュー表示 ●

レイヤ詳細ダイアログで、レイヤごとに作図されている内容をプレビュー表示で確認できます。

① <詳細>ボタンをクリックします。



② プルダウンから「プレビュー」をクリックします。



③ プレビュー表示が見えにくい場合は、レイヤ欄にカーソルを移動し、マウスホイールを回転すると拡大縮小表示が可能です。

● レイヤ振り分けモード ●

図形を作図するときに、レイヤに振り分ける設定を3つの中から選択します。

「モード1（カレントのレイヤに作成する）」カレントレイヤ（現在のレイヤ）に作図します。
カレントレイヤを切替えながら作図します。

「モード2（配管、ダクト用途名称と同名のレイヤに作成）」

配管、ダクトを作図する場合、用途名称と同じ名称のレイヤが自動的に作成され、そのレイヤに自動的に作図します。

基本図形はカレントレイヤ（現在のレイヤ）に作図します。

配管、ダクトを作図する場合は、カレントレイヤを切替える必要はありません。

「モード3（レイヤ振り分け設定でカスタマイズ）」

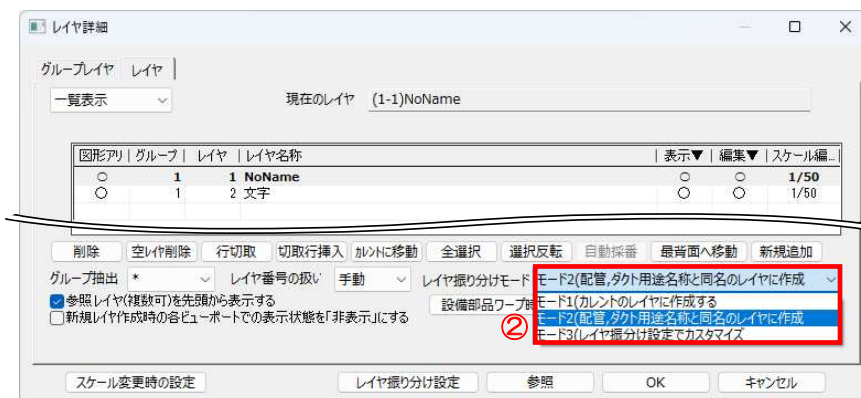
「レイヤ振り分け設定」ボタンをクリックして表示される、レイヤ振り分け設定ダイアログの内容にしたがって図形は各レイヤに振り分けて作図します。

用途名称以外もレイヤが自動的に作成され、そのレイヤに自動的に作図します。

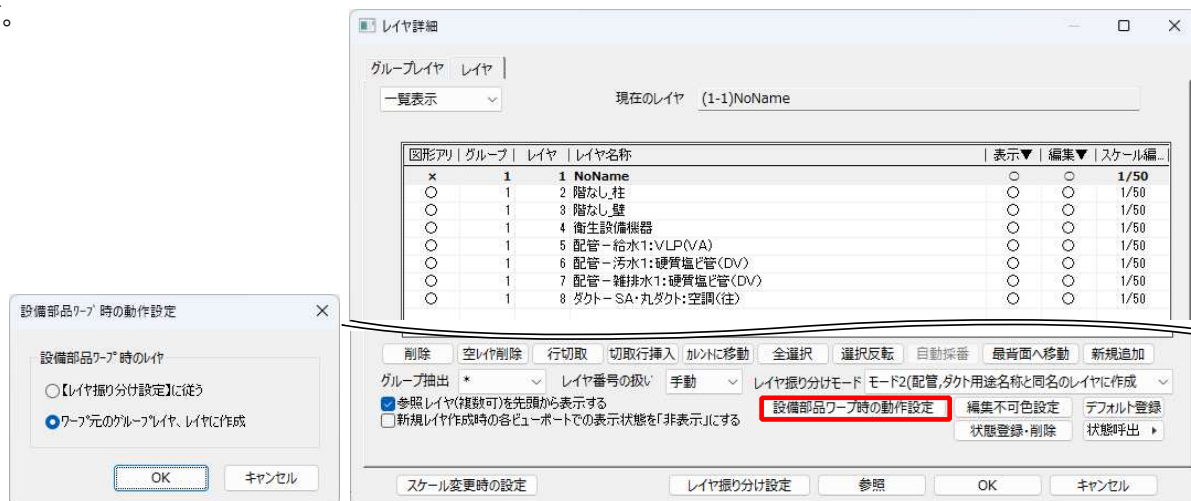
① 「詳細」ボタンをクリックします。



② 「レイヤ振り分けモード」からモードをクリックします。



※ 「設備部品ワープ時の動作設定」ボタンをクリックすると、配管、ダクトの設備部品をワープした場合にレイヤ振り分け設定に従うのか、ワープした部品のグループレイヤ、レイヤに作成するのか選択できます。



● グループレイヤの作成 ●

① <詳細>ボタンをクリックします。

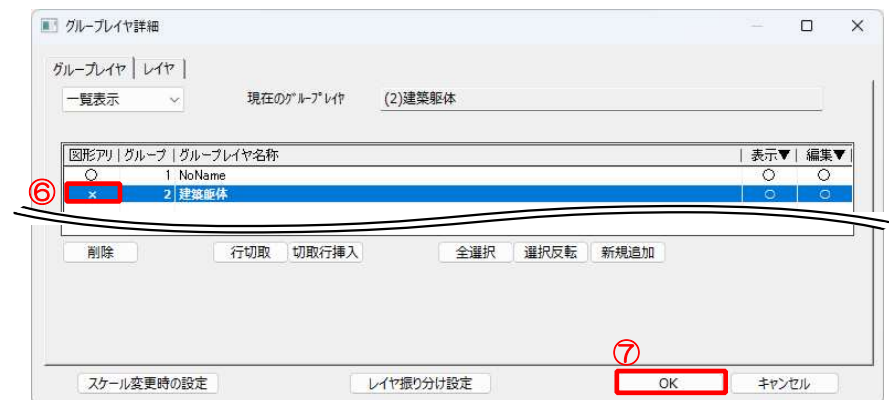


② 「グループレイヤ」タブをクリックします。



- ③ <新規追加>ボタンをクリックします。
 ④ グループレイヤ名称をキー入力します。
 ⑤ 確認ダイアログの<はい>ボタンをクリックします。

⑥ カレントにするグループレイヤの「図形アリ」欄をクリックします。



⑦ <OK>ボタンをクリックします。

※ グループレイヤを非表示、または編集不可とした場合は、「レイヤ」タブの「表示」または「編集」欄がグレー表示となります。



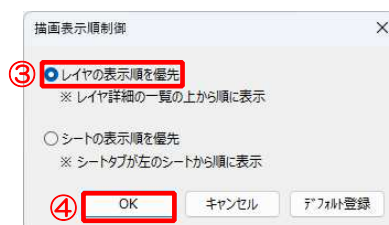
● レイヤの表示順 ●

レイヤ詳細ダイアログでレイヤの表示順を設定できます。

- ① [表示]タブをクリックします。



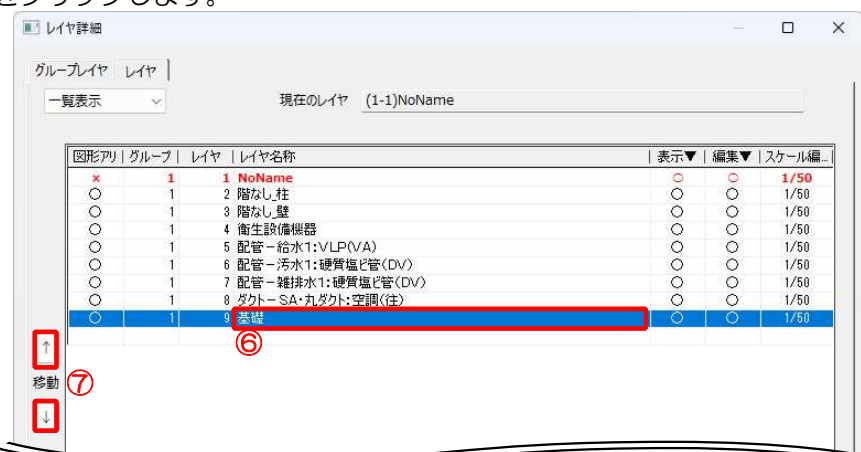
- ② [描画表示順制御]コマンドを実行します。
③ 「レイヤの表示順を優先」にチェックを入れます。
④ <OK>ボタンをクリックします。



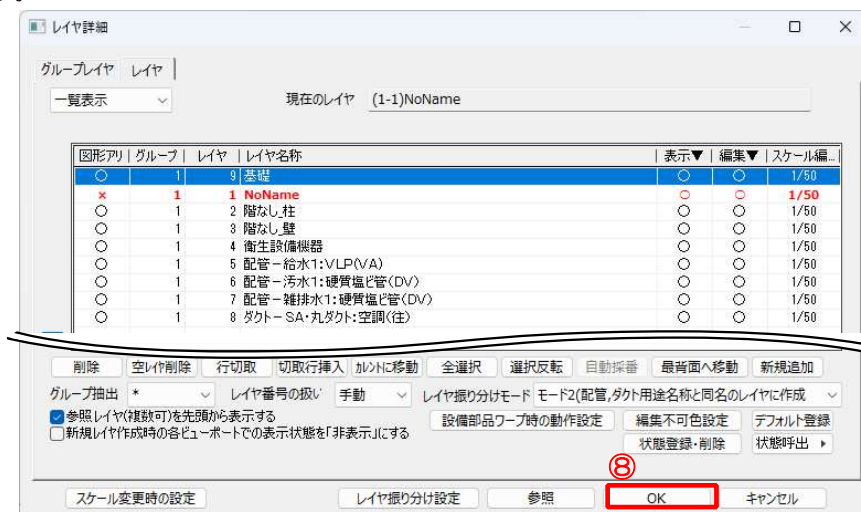
- ⑤ <詳細>ボタンをクリックします。



- ⑥ 表示順を移動するレイヤ名称をクリックします。



- ⑦ <↑×↓>ボタンで順番を変更します。
※ 一番上に表示されているレイヤが表示の一番下（最背面）となります。
⑧ <OK>ボタンをクリックします。



※ [表示]タブの[最前面へ移動][最背面へ移動]コマンドを実行すると、レイヤの表示順ではなく選択した図形を「最前面」または「最背面」へ移動します。



● 他 CAD からの取込み、書出しについての注意点 ●

※ JWW、JWC

JW-CAD はレイヤ番号、グループレイヤ番号ともに「0」から始まりますが、FILDER SiX は「1」から始まります。JWW、JWC ファイルを取込んだ場合は「+1」された番号になり、書出した場合は「-1」された番号になります。

JW-CAD は 16 グループレイヤで、1 グループレイヤ内に 16 レイヤ存在します。16 以上のグループレイヤ、レイヤは 16 以内の空いているグループレイヤ、レイヤへ移動して書出されます。

また、同一グループ内に異スケールのレイヤが存在しないように、グループレイヤを移動して書き出されます。

空いているグループレイヤ、レイヤが存在しない場合は、16 番の F グループレイヤ、F レイヤにまとめて書き出されます。

※ DWG、DXF

AutoCAD にはレイヤ番号という考えがありません。DWG、DXF ファイルに書出した場合は、グループレイヤ番号、レイヤ番号が無くなり、名称のみになります。その時、必ず「0」という名称のレイヤが作成されます。

※ SXF

SXF ファイルにはレイヤ番号という考えがありません。SXF ファイルに書出した場合は、グループレイヤ番号、レイヤ番号が無くなり、名称のみになります。

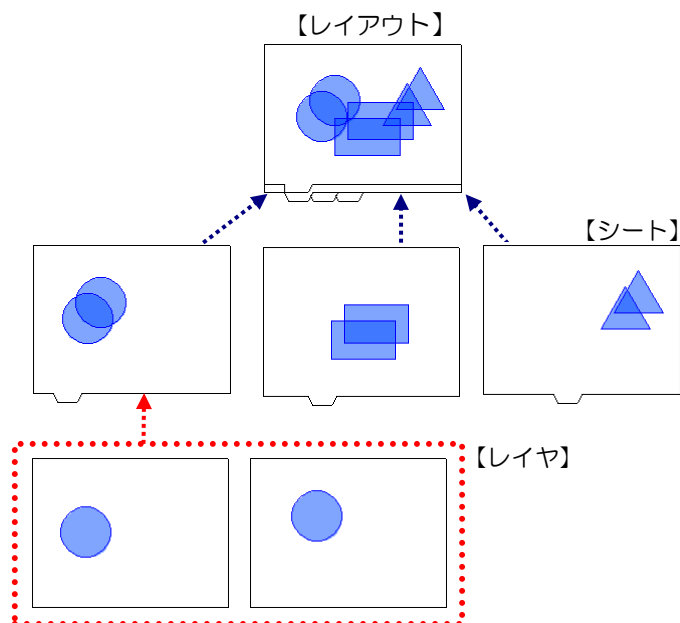
シート

● シートとは ●

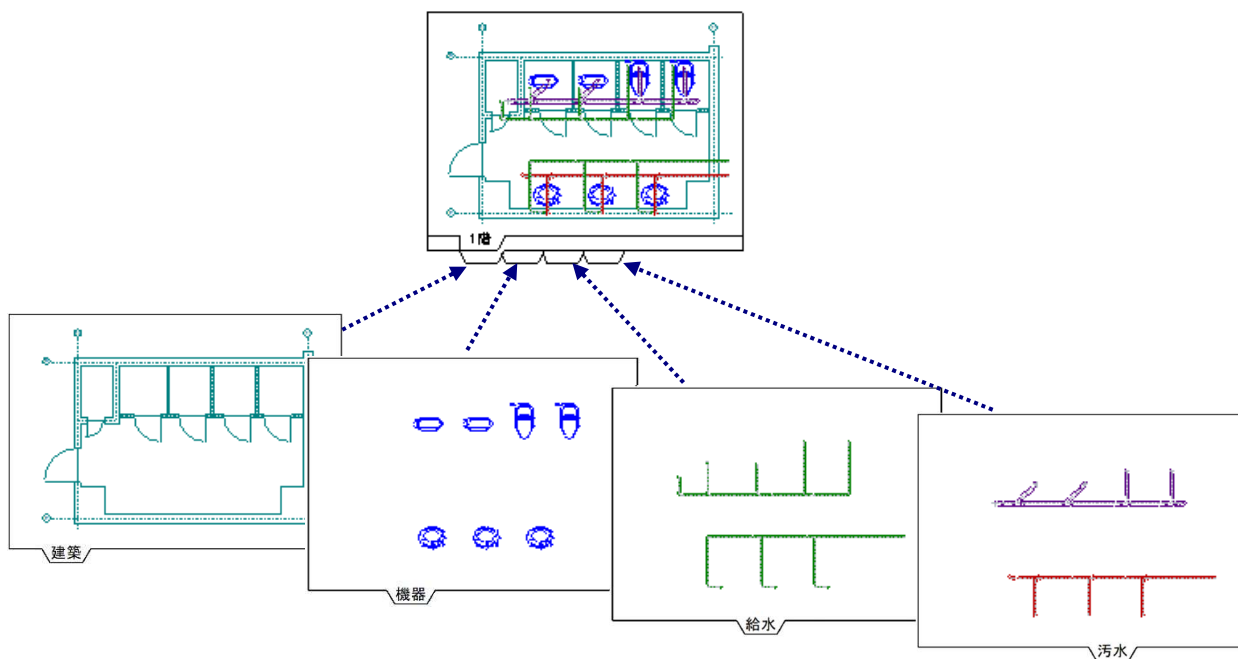
レイヤのようにそれぞれのシートに図形を配置して、シートごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。

一つのレイアウトに複数のシートを分けて操作します。

シートを更に細かく制御したい場合は、シート内でレイヤを分けて操作することも可能です。

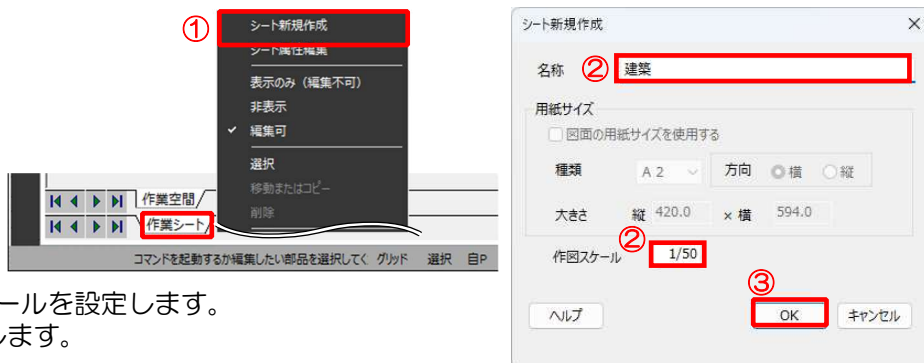


例えば、「1 階」のレイアウトに、「建築躯体」のシート、「機器」のシート、「給水配管」のシート、「污水配管」のシートとします。これをすべて重ねて表示しているのが、今の画面です。



● シートの作成 ●

- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート新規作成」を選択します。

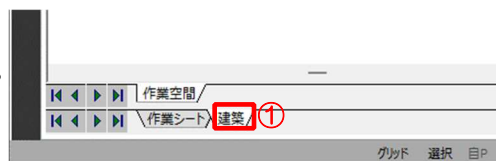


- ② シートの名称、作図スケールを設定します。
③ <OK>ボタンをクリックします。

● カレントの切替え ●

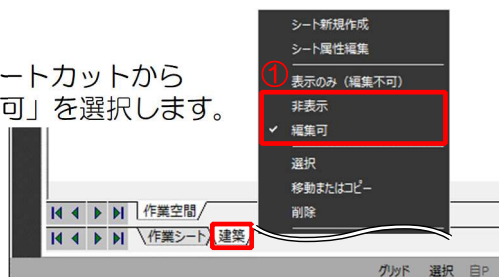
FILDER SiX では書き込みシートを“カレントシート”と呼びます。

- ① カレントにするシートタブをクリックします。

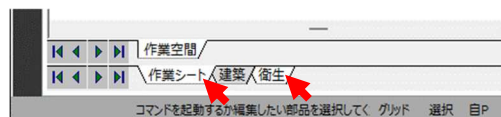


● 表示、非表示の切替え ●

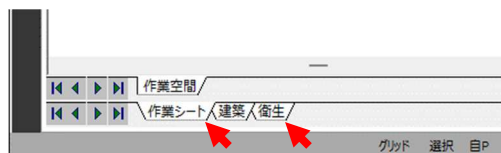
- ① 表示・非表示を切替えるシートタブ上で右クリックしてショートカットから非表示にする場合は「非表示」を、表示にする場合は「編集可」を選択します。



※ [Ctrl]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの複数選択が可能です。

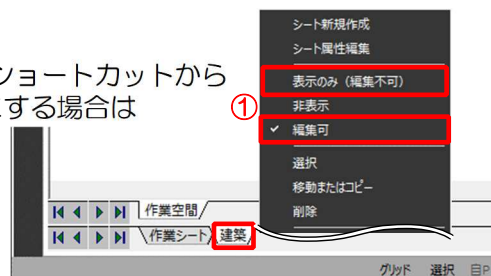


※ [Shift]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの範囲選択が可能です。

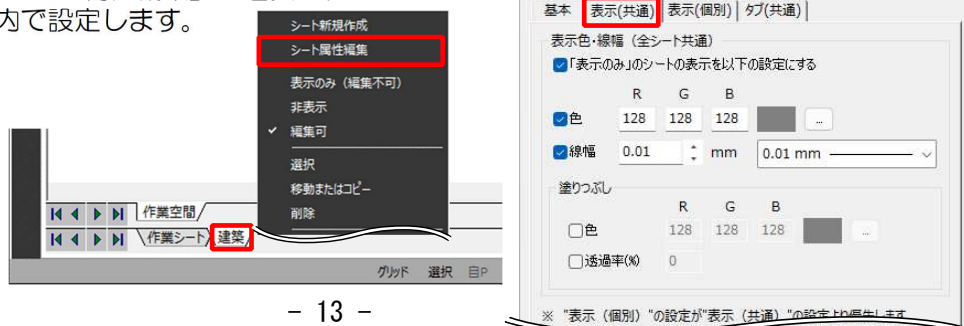


● 編集可、編集不可の切替え ●

- ① 編集可・編集不可を切替えるシートタブ上で右クリックしてショートカットから編集不可にする場合は「表示のみ（編集不可）」を、編集可にする場合は「編集可」を選択します。

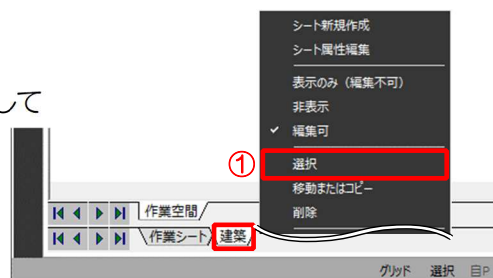


編集不可としたシートの色は、シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択し、「表示（共通）」タブ内で設定します。



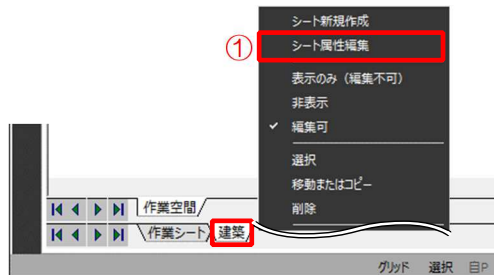
● シートの選択 ●

- ① シート内の全ての図形を選択するシートタブ上で右クリックしてショートカットから「選択」を選択します。



● スケールの変更 ●

- ① スケールを変更するシートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。

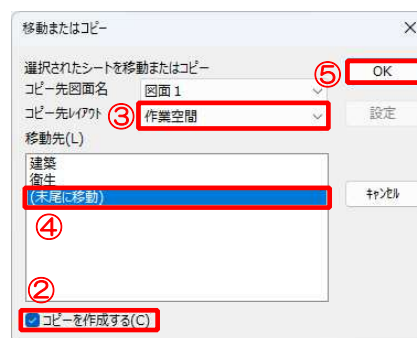
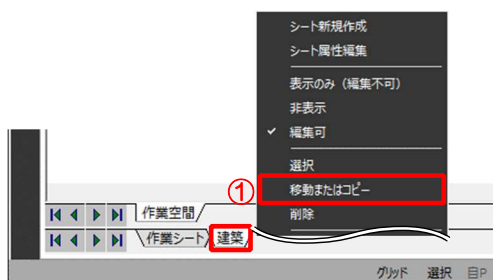


- ② 変更後のスケールをキー入力します。
③ <OK>ボタンをクリックします。

● シート全体の移動・コピー ●

同じファイル内でシート全体の移動、コピーをする場合は、

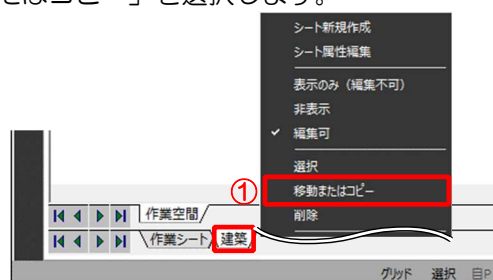
- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。



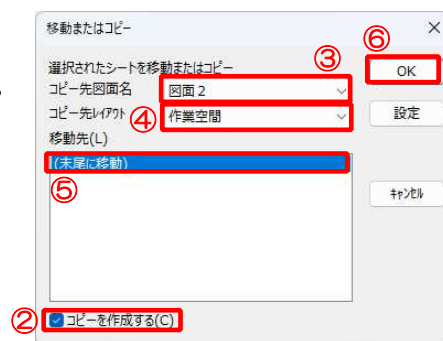
- ② コピーの場合は「コピーを作成する」にチェックを入れます。
③ 「コピー先レイアウト」からレイアウト名を選択します。
④ 移動・コピー先のシートを指示します。
⑤ <OK>ボタンをクリックします。

別のファイルにシート全体のコピーをする場合は、

- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。

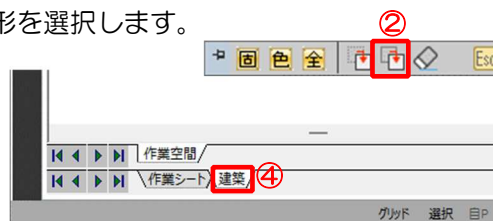


- ② 「コピーを作成する」にチェックを入れます。
- ③ 「コピー先図面名」からファイル名を選択します。
このリストには、現在開いているファイルの名称が表示されます。
- ④ 「コピー先レイアウト」からレイアウト名を選択します。
- ⑤ コピー先のシートを指示します。
- ⑥ <OK>ボタンをクリックします。



● シート間のコピー ●

- ① コマンドキャンセルの状態、別のシートへコピーしたい図形を選択します。
- ② ミニツールバーの<複写>ボタンをクリックします。
- ③ 基点をクリックします。
- ④ コピー先のシートタブをクリックします。
- ⑤ コピー先でクリックします。



● シート間の移動 ●

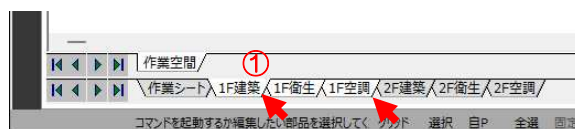
- ① コマンドキャンセルの状態、シートを移動したい図形を選択します。
- ② シートのプルダウンから移動先のシートを選択します。



● シートのグループ登録 ●

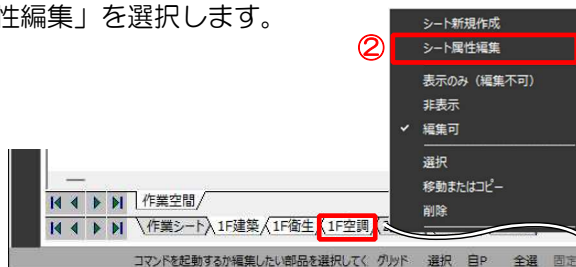
複数シートをグループとして登録できます。
グループ登録したシートはひとつにまとめて表示し、一括で属性編集や表示非表示の切替えが可能です。

- ① グループ登録したいシートを選択します。



- ※ [Ctrl]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの複数選択が可能です。
- ※ [Shift]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの範囲選択が可能です。

- ② シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。

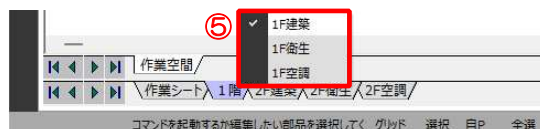


- ③ 「グループ」にグループ名をキー入力します。

- ※ すでにあるグループに追加する場合は、「グループ」のプルダウンからグループ名を選択します。



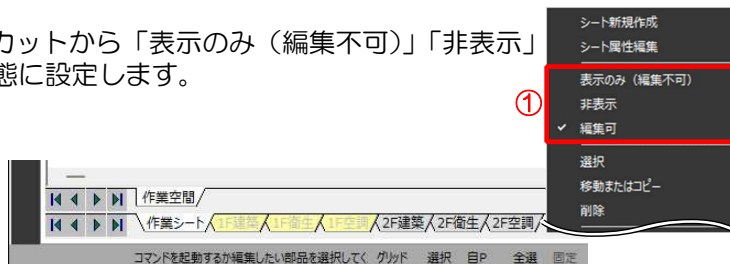
- ④ <OK>ボタンをクリックします。
 ⑤ グループシートタブをクリックし、グループ内のシート名からカレントシートを選択できます。



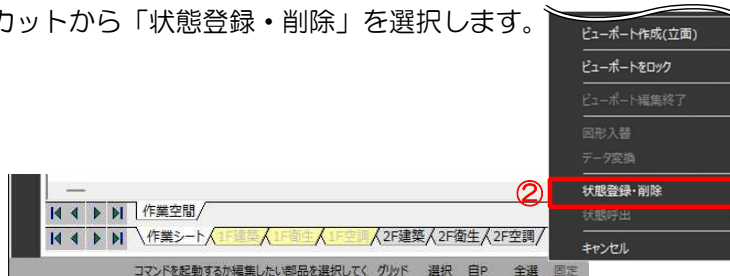
● シートの表示状態登録、呼出 ●

シートの表示／非表示・編集可／編集不可の状態を登録し、一括で変更できます。

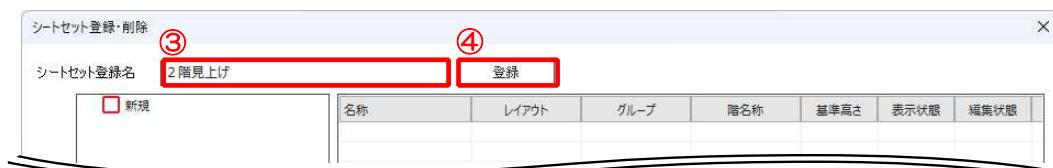
- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「表示のみ（編集不可）」「非表示」「編集可」を選択し、登録したい表示状態に設定します。



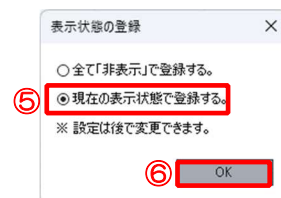
- ② シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態登録・削除」を選択します。



- ③ 「シートセット登録名」にシートセットの名称をキー入力します。



- ④ <登録>ボタンをクリックします。
 ⑤ 「現在の表示状態で登録する」にチェックを入れます。
 ⑥ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑦ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑧ 登録したシートセットの表示状態にしたい場合は、シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態呼出」内のシートセット登録名を選択します。



● シート内のレイヤの扱い ●

作業シートでのレイヤの操作は、通常のレイヤと同様の操作となります。
作業シート以外のシートでは、レイヤのスケールは無視され、シートの作図スケールが有効になります。
(レイヤ詳細のダイアログには、スケール編集の欄が表示されません。)

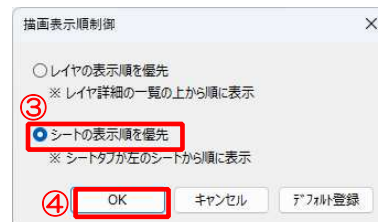
● シートの表示順 ●

シートタブの並びでシートの表示順を設定できます。

- ① [表示]タブをクリックします。



- ② [描画表示順制御]コマンドを実行します。
③ 「シートの表示順を優先」にチェックを入れます。
④ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑤ シートタブをドラッグし順番を変更します。
※ 一番左に表示されているシートが表示の一番下（最背面）となります。
※ 作業シートの順番は変更できません。



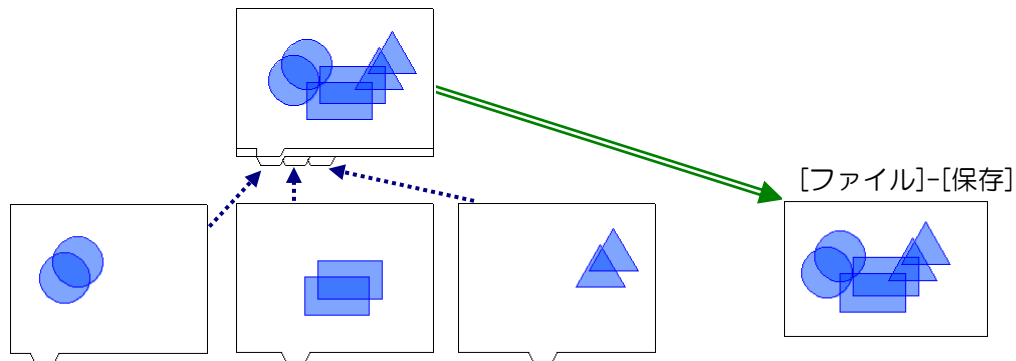
※ [表示]タブの[最前面へ移動][最背面へ移動]コマンドを実行すると、シートの表示順ではなく選択した図形を「最前面」または「最背面」へ移動します。



● 他CADからの取込み、書出しについての注意点 ●

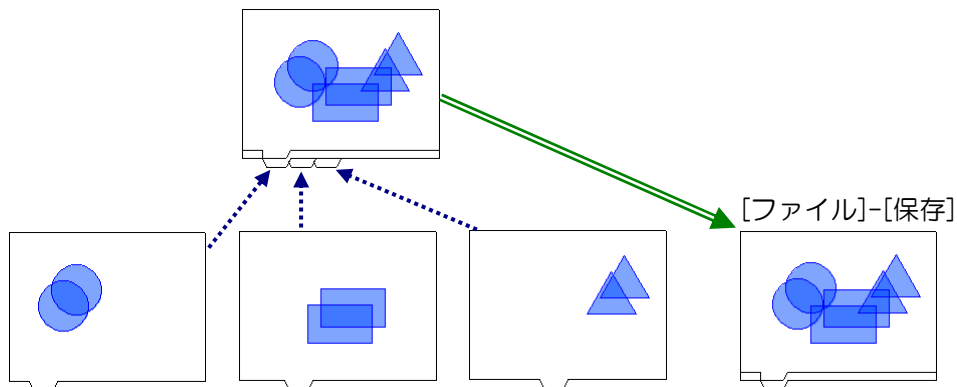
※ JWW、JWC

複数シートが存在する場合は、図形が一つのシートにまとめて保存されます。



※ DWG、DXF

1つのレイアウトに複数シートが存在する場合は、図形が1つのシートにまとめて保存されます。



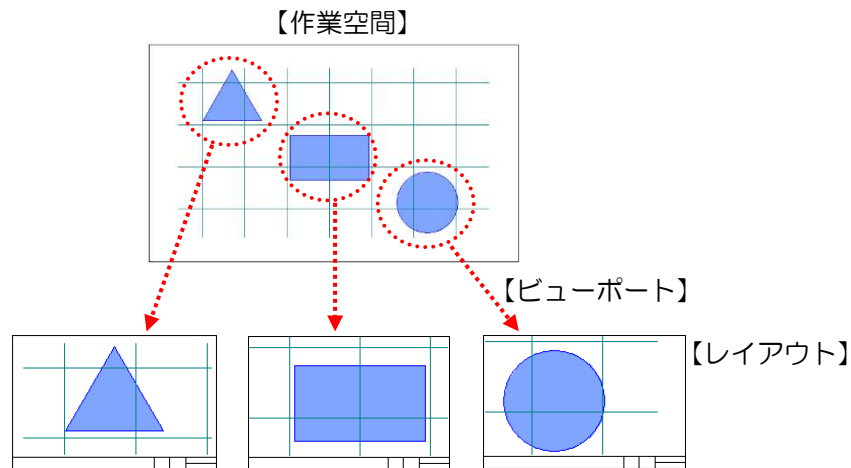
※ SXF

SXF ファイルをシートとして取込むには、SXF ファイルを取込む前に「SXF 設定」で設定が必要です。
取込み後にシートに変換することはできません。

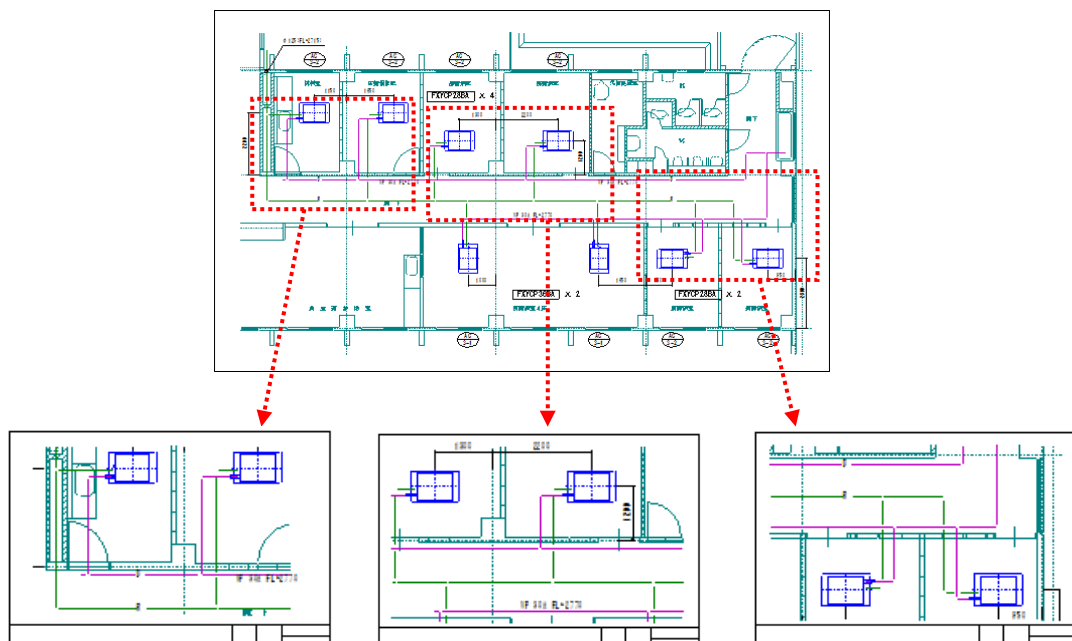
レイアウト

● レイアウトとは ●

1つのファイルには作業空間とレイアウトの2つの空間があります。
 作業空間は図面全体（建物全体または設備全体）を作成する空間です。レイアウトは作業空間で作成した図面をビューポートで抜き出して、バランスよく配置し、一枚の図面として完成させる空間とってください。
 ビューポートとは、作業空間の一部を抜き出すための窓です。

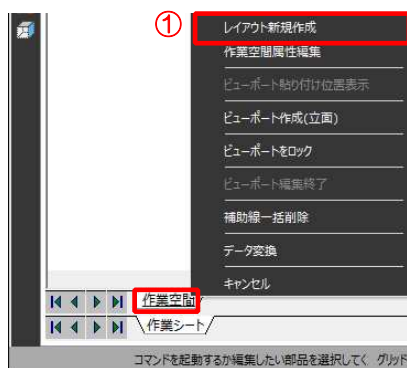


例えば、2階部分全体を作業空間に作成し、一部の通り芯間を抜き出して1枚の図面とします。



● レイアウトの作成 ●

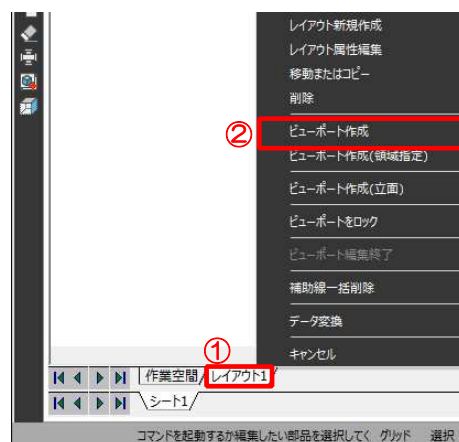
- ① 作業空間タブ上で右クリックしてショートカットから「レイアウト新規作成」を選択します。



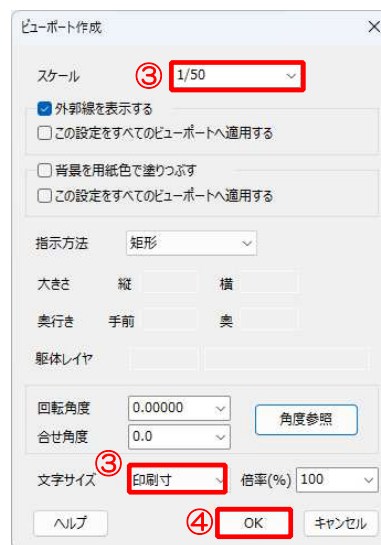
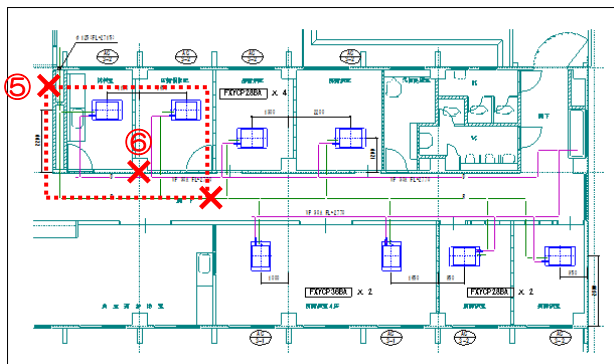
- ② レイアウトの名称、作図スケールを設定します。
 ※ レイアウト上に作図する図形は、この作図スケールが有効になります。
 ※ 用紙サイズを指定する場合は「図面の用紙サイズを使用する」のチェックを外します。
- ③ <OK>ボタンをクリックします。

● ビューポートの作成 ●

- ① レイアウトタブをクリックします。



- ② レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「ビューポート作成」を選択します。
- ③ ビューポートのスケールと文字サイズを設定します。
 ※ ビューポートのスケールに合わせて文字の大きさを変更する場合は「実寸」を選択します。
 ビューポートのスケールには関係なく作業空間の時と同じ文字の大きさにする場合は「印刷寸」で「100%」を選択します。
- ④ <OK>ボタンをクリックします。
- ⑤ ビューポートの大きさ・形を指示します。
 (矩形の場合は、対角の2点をクリックします。)

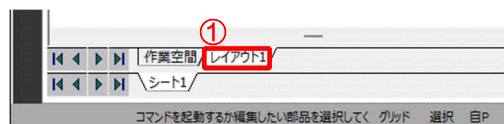


- ⑥ 基準点をクリックします。
 ※ 基準点をクリックせずに右クリック、または[Enter]キーで確定した場合は、領域指示した最後の点を基準とします。(矩形の場合は2点目)
- ⑦ ビューポートの配置位置をクリックします。

● カレントの切替え ●

FILDER SiX では書き込みレイアウトを“カレントレイアウト”と呼びます。

- ① カレントにするレイアウトタブをクリックします。



● 表示、非表示の切替え ●

ビューポート内のレイヤの表示・非表示を切替えます。

- ① レイヤの表示・非表示を切替えるビューポート上で右クリックしてショートカットから「レイヤ制御」を選択します。



- ② このビューポートのみで表示状態を変更する場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「このビュー」欄をクリックします。
新しく作るビューポートで表示状態を変更する場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「新ビュー」欄をクリックします。
※ カレントレイヤの表示状態は変更できません。



- ③ 作業空間上で表示状態を変更する（全てのビューポートに反映する）場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「表示」欄をクリックします。
※ カレントレイヤの表示状態は変更できません。
④ <OK>ボタンをクリックします。

● スケールの変更 ●

- ① スケールを変更するビューポート上で右クリックしてショートカットの「属性編集」を選択します。
② 変更後のスケールをキー入力します。
③ <OK>ボタンをクリックします。

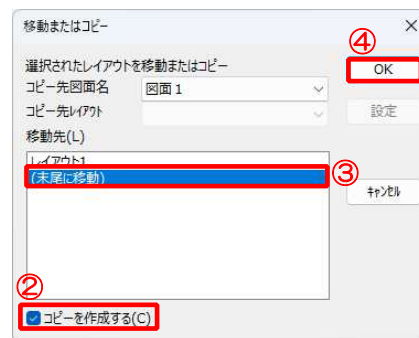
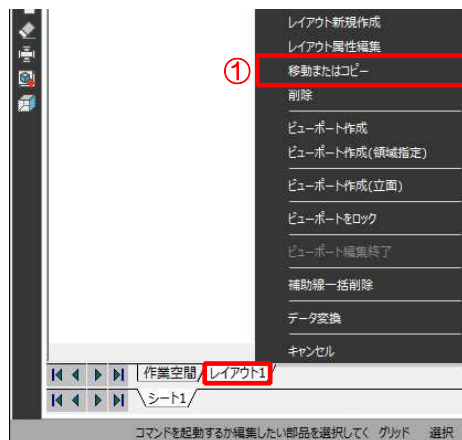


● 移動・コピー ●

レイアウトに作成した図形のレイアウト間の移動、コピーはファイル間コピーと同様の操作となります。

同じファイル内でレイアウト全体の移動、コピーをする場合は、

- ① レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。



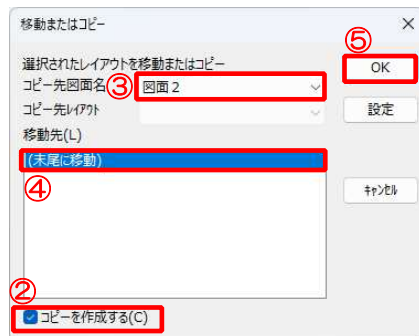
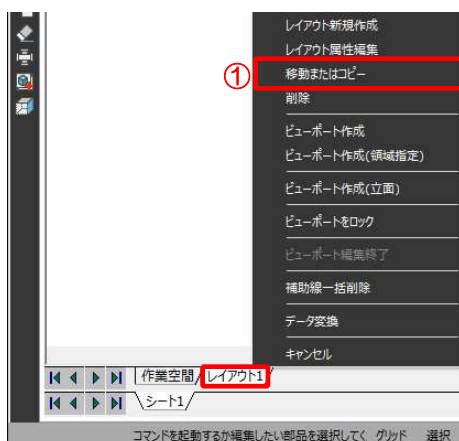
- ② コピーの場合は「コピーを作成する」にチェックを入れます。

- ③ 移動・コピー先のレイアウトを指示します。

- ④ <OK>ボタンをクリックします。

別のファイルにレイアウト全体のコピーをする場合は、

- ① レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。



- ② 「コピーを作成する」にチェックを入れます。

- ③ 「コピー先図面名」からファイル名を選択します。

このリストには、現在開いているファイルの名称が表示されます。

- ④ 移動・コピー先のレイアウトを指示します。

- ⑤ <OK>ボタンをクリックします。

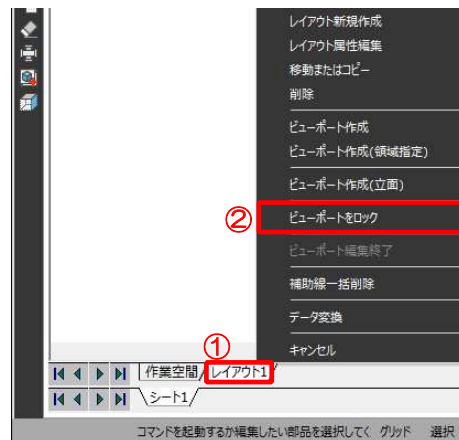
※ 別のファイルにレイアウトをコピーしても、ビューポートの枠はコピーされますが、ビューポート内の図形（モデル空間の図形）は、コピーされません。

● ビューポートをロック ●

ビューポートを選択したくない場合に、「ビューポートをロック」を使用します。

- ① レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「ビューポートをロック」を選択します。

※ ビューポートをロックは、図面内の全てのビューポートに反映されます。
特定のビューポートにのみ反映させることはできません。



● 他CADからの取込み、書出しについての注意点 ●

※ JWW、JWC

JW-CAD にはレイアウトという考えがありません。レイアウトを作成したファイルを JWW、JWC ファイルに書出した場合、レイアウトは無くなります。

レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「データ変換」を選択し、レイアウトごとに出してください。その時、作業空間のスケールで書出されるので、ビューポートのスケールと作業空間のスケールを統一してください。

※ DWG、DXF

ファイルの種類から「DWG ファイル(*.dwg)」「DXF ファイル(*.dxf)」のバージョン「2007」以下を選択すると、レイアウトが書出されません。

他の CAD で作成した DWG、DXF ファイルを開いた時に、「Model」空間（FINDER SiX での作業空間）が 2 つ存在する場合があります。Model 空間が 2 つ存在すると、DWG、DXF ファイルで書出すことができません。

DWG、DXF ファイルを開く前に、「DWG・DXF 設定」で取込み空間を設定します。

※ SXF

レイアウトを作成したファイルを SXF ファイルに書出した場合、レイアウトは無くなります。

レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「データ変換」を選択し、レイアウトごとに出してください。その時、作業空間のスケールで書出されるので、ビューポートのスケールと作業空間のスケールを統一してください。